

# 後期学校評価結果報告

訓子府町立訓子府小学校

令和5年度後期の「学校評価アンケート」の集約結果を、以下にお知らせいたします。ご多用の中ご協力していただき、ありがとうございました。いただいたご意見を、今後の学校経営や教育活動に活かして参ります。

## 1 保護者アンケート（回収率 保護者回収率 56.8%：児童 84.0%：教職員：96.0%）

令和5年12月 アンケート結果		保護者	児童	教職員
1	学校に楽しく通っている。	3.4	3.1	3.3
2	居場所ある学級づくりに努めている。	/	/	3.2
3	地域に根付いた学習を進めている。	3.5	3.2	3.4
4	失敗をおそれずに新しいことに取り組んでいる。	3.0	3.0	3.4
5	課題に直面した時、自分の判断で行動することができる。	2.6	3.1	/
6	自己決定の場を意図的に創出することができた。	/	/	3.3
7	粘り強く物事に取り組む態度や姿勢を身に付けている。	2.8	3.2	3.3
8	仲間と協力しながら、いろいろなことに取り組むことができる。	/	3.4	3.1
9	温かな言葉遣いをしている。	2.9	3.1	2.7
10	友だちと望ましい関係を築いている。	3.2	3.6	/
11	友だちのよさや違いを大切にしている。	/	3.5	3.0
12	良さを認め励ます姿勢や態度で児童の指導に当たっている。	/	/	3.5
13	宿題や家庭学習の習慣が身に付いている。	2.8	/	/
14	授業は楽しいと話している。	2.9	/	3.3
15	「子供が学ぶ授業」への転換を意識的に行った。	/	/	3.0
16	授業中に自分の考えを伝えることができる。	/	3.0	3.2
17	友だちとコミュニケーションをとりながら、勉強や生活することができる。	/	3.4	3.1
18	タブレットを使った授業がわかりやすい。	/	3.6	2.9
19	授業中に自分から進んで問題や課題に取り組んでいる。	/	3.1	/
20	学習の決まりを守って生活している。	/	3.2	2.8
21	進んで歩いて登校している。	2.5	/	2.6
22	日常的に体を動かして遊んでいる。	3.0	/	2.9
23	汗をかく体育の授業実践ができています。	/	/	2.9
24	望ましい食習慣を身に付けさせている。	/	/	3.0
25	働き方改革は改善されている。	/	/	2.5
26	教育課程は改善されている。	/	/	2.9

学校評価は、概ねどの項目も一定の評価をいただきました。特に、「学校に楽しく通っている。」「地域に根付いた学習を進めている。」などの項目については、保護者・児童・教職員共に高い評価となっています。ふるさと教育（くんねっぶ学）は、コミュニティスクールのスクールサポーターの方々の協力を得て、訓子府町の産業や歴史、文化などを学習しています。過日行われた「子供たちと雪像を作る会」の方々と連携した4年生の雪像作りはその一例です。また、スキー学習などにおいても、低学年を中心に保護者の皆様より指導の補助をいただいています。ありがとうございます。今後も一層、地域とともにある学校づくりを進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、「仲間と協力しながら、いろいろなことに取り組むことができる。」「友だちと望ましい関係を築いている。」などの項目についても、高い評価となっています。子ども同士の関係のよさや学び合う姿勢が、学校生活の充実に繋がっています。子供たち一人ひとりの個性やよさを尊重しながら、相互に高め合う学級づくりを目指していきます。この他には、前期に比べて以下の項目で成果と課題が見られました。

- 「地域に根付いた学習を進めている。」（+0.3）教職員
- 「失敗をおそれずに新しいことに取り組んでいる。」（+0.1）保護者（+0.2）教職員
- 「粘り強く物事に取り組む態度や姿勢を身に付けている。」（+0.1）教職員
- 「タブレットを使った授業がわかりやすい。」（+0.3）教職員
- 「宿題や家庭学習の習慣が身に付いている。」（-0.2）保護者

前期のアンケートでは、「自分で判断して行動する力」や「粘り強く取り組む姿勢」「徒歩通学の奨励」について課題が見られました。しかし、子供の自主性を尊重した学級活動や仲良し会活動の充実、子供が学ぶ授業への転換、一人1台端末を活用した授業などの取組により、改善傾向が見られました。まだ十分とは言えませんが、徒歩通学の奨励も保護者の評価が向上しています。今後も子供たちの安全に配慮しながら、日常的な運動や遊びの推進を進めてまいります。

一方、宿題や家庭学習の習慣は、改善の余地があります。端末の持ち帰りにより、家庭学習の内容が多様になりましたが、どんな学習をしているのか分かりにくいという側面があります。しかし、「タブレットを使った授業がわかりやすい。」（児童 3.6）と、子供たちには大変好評です。端末と紙による課題をバランスよく組合せ、基礎基本の定着を図っていきます。

## 2 自由記述【端末の持ち帰り活用状況】※同内容を合わせています。

- ・楽しく取り組んでいた。（7名）
- ・毎日持ち帰り、宿題や家庭学習で活用している。（5名）
- ・キーボードなど、タイピングが速くなった。（4名）
- ・検索機能や翻訳機能、イラストなど、家庭学習の幅が広がってよい。
- ・宿題や課題に、いつもより積極的に取り組んでいた。
- ・学年閉鎖時のオンライン授業や宿題などが良かった。（4名）
- ・充電して寝て、朝起きたらまずカバンに入れるルールにしている。
- ・画面に向かう時間が増えることにより、視力低下が心配される。

- 使用する時間制限があるのが良い。長期休業中の使用時間が心配される。
- 端末を使った家庭学習は子供にとって取り組みやすい。ノートを使った学習も取り組むとよい。
- 宿題（課題）のみ使っている。（13名）
- 端末上の宿題はやっているのかわからない時がある。
- 宿題はやってはいるが答えが選択肢での回答のため、どれかを当てはめれば正解になってしまう。本当にわかっているのか心配になる。
- 宿題以外の使い方がよくわからなかった。
- タブレットを開いて検索ばかりしている。（2名）
- あまり活用していない。（10名）
- 自分からは進んでやらない。（2名）
- ランドセルが重い。（7名）
- 使わない日もあるので、毎日の持ち帰りは不要なのではと感じた。
- 家に端末機器がある家庭は、持ち帰りはいらぬ。

日常的な持ち帰りを実施し、授業の他にアンケートや仲良し会活動、家庭学習などで活用してきました。また、現在は居武士小学校や津野町の子供たちとの交流学习でも活用しています。個人から学級、他学年、町内校、町外校へと学びの範囲を広げています。学び合う友達が増えることにより、一層学習意欲が向上しています。

また、端末の活用が段階的に増えたことにより、操作の仕方やキーボードの打ち込みなど、子供たちのスキルが向上しています。この他にも、学習支援ソフト「ラインズ」の活用により、いつでも自分のペースで学び直すことができます。これまで取り組んできた鉛筆とノートを使った課題と合わせてバランスよく組み合わせることにより、一層学習への関心意欲の向上、基礎基本の定着が期待できます。一方で、端末の正しい使い方が課題です。家庭学習と関係ない使用はしないように、ご家庭でも注意を呼びかける必要があります。また、充電を忘れてくる子供も見られますので、合わせて声かけをお願いする必要があります。

### 3 自由記述【訓小をさらに魅力ある学校にするためのご意見】

皆様よりいただいたご意見を紹介します。なお、主旨が簡潔に伝わるように表現を簡略化していますので、ご了承願います。また、個人に関わる内容については、個別に対応させていただきますので、合わせてご承知おき願います。

【施設や設備について】

（保護者）

- 劣化した設備の改善を要する。
- トイレが臭いため、改善してほしい。
- 各学級にエアコンを設置してほしい。スポットクーラーは十分ではない。
- 体育館のラインをもっと目立つ色にしてほしい。
- 校舎を新築する。
- 児童数の減少に伴い、小中一貫校を検討する時期が来ているのではないか。

- ・トイレ清掃の際、共有のゴム手袋を使用している。使い捨てのゴム手袋の方が衛生的によい。
- ・欠席やその他の連絡方法を電話以外にもあるよい。話し中で繋がらないことがある。  
(児童)
- ・遊具(ターザンロープ・ボールなど)を増やしてほしい。(12名)
- ・トイレを新しくしてほしい。(10名)
- ・便座を暖かくしてほしい。(4名)
- ・学校を新しくしてほしい。(6名)
- ・教室や収納スペース、机を大きくしてほしい。(3名)
- ・エアコンや扇風機がほしい。(2名)
- ・教室や廊下の暖房を暖かくしてほしい。  
(教職員)
- ・安全な遊具が増えたらよい。体力向上にもつながる。(2名)

エアコンの設置は、次年度より各学年の教室を優先に工事を進める予定です。また、欠席などの連絡について、電話以外の連絡手段を現在検討しております。

校舎内外の設備については、日常的に安全点検を行い、必要に応じて修繕に努めてきました。トイレの改修や遊具の設置など、規模の大きい内容については、適時教育委員会と協議し対応してまいります。各種清掃用具の点検は適時行い、衛生面に配慮いたします。冬期間の暖房は、各教室を優先に可能な限り温度を保っています。児童の下校後や消灯時刻後、週休日は節電しておりますので、ご理解をお願いいたします。

#### 【保護者との連携について】

(保護者)

- ・先生と子供の間で、何でも話せる環境作りを大切にしてほしい。
- ・夏冬休みの自由研究の必要性について、廃止も含め検討してほしい。(2名)
- ・駄目なものは駄目としっかり伝えてほしい。

子供たちの学習や生活の様子について、日常的に連携を深めることが大切です。学習のつまずきや友達関係など、心配なことがありましたら些細なことでもご相談ください。内容に応じて、担任をはじめ学年団の教職員や特別支援教育コーディネーターなどで対応いたします。

自由研究については、これまで子供の自主性や主体性を大切に、個々の興味関心に応じた課題に取り組んできました。その成果は作品展にて全校に紹介しています。夏休みと冬休みでは休日や祝日の期間に差がありますので、子供たちの加重負担とならないように内容の縮小や廃止も含めて、検討いたします。

子供たちのよりよい成長を育むために、学年団や支援員など全職員で子供たちに指導と支援を行っています。全職員で全ての子供たちを関わることを掲げてきました。同じ方針で同じ指導ができるよう、情報を共有しています。より効果を高めるためには、教員間や児童との信頼関係が大切です。毅然とした態度の中にも、温かな愛情に溢れた指導を心がけていきます。

### 【温かな言葉遣い】

(教職員)

- できている子とそうでない子の差を埋める必要がある。(2名)
- 学校全体で、適切な言葉遣いを根気強く丁寧に指導を続ける必要がある。(2名)
- 友達に対してきつい言葉を投げかけたり、場にそぐわない言葉を発したりする場面では、毅然とした態度で指導が必要である。
- 言語環境は家庭とも深く関わるので学校だけでは難しい。教員も正しい言葉遣いを心掛けていくしかない。

地域の方や先生、目上の人に対する丁寧な言葉遣いはもちろん、友達や下学年に対しても、温かい言葉遣いを意識できるように指導しています。日常生活や道徳などの指導をとおして、相手の立場を考え、その場面での気持ちを想像し、思いやりのある行動を実践できる力を伸ばしていきます。

### 【特色ある教育活動について】

(保護者)

- 基礎基本だけではなく、応用して学ぶ機会を充実してほしい。
- 新しいことや難しいことに、チャレンジしてほしい。

(児童)

- 学校の図書室の本を増やしてほしい。もっと頻繁に図書館に本を借りに行きたい。
- 全学年で生き物を飼いたい。中庭で動物を飼いたい。(5名)
- 食堂で給食を食べたい。(4名)

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、研修部を中心に授業実践を重ねてきました。特に今年度は訓子府中学校やこども園と連携し、相互に授業を学び合う機会を充実させてきました。幼小中の連携を深め、「わかる」「できる」で楽しい授業を目指して参ります。

生き物については、学習目標のねらいを達成するために必要に応じて飼育しています。また、植物の栽培や自然観察等で達成する場合があります。

新型コロナウイルス感染症の対策として、現在廊下で配膳し、教室で給食を食べています。子供たちの安全を第一に考え、感染対策を講じながら、段階的に検討してまいります。

貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございました。少しでも子どもたちのためになるように、日々改善してまいります。

なお、学校においては以下の点に重点をおき、よりよい教育活動を推進してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。